



発行責任者 / 小林 政氏
発行日 / 2005年 9月 1日

当事務所は、平成 17 年 1 月
ISO9001 を認証取得しました。



● 経営 ● 経営コンサルティング ● 経理 ● 会計

小林合同会計

所長税理士 小林政氏 税理士 山野基尚

〒332-0032 埼玉県川口市中青木1丁目1番25号
TEL (048) 253-5668 FAX (048) 253-7602
<http://www.e-cg.co.jp>

所報タイトル「飛躍」は所内で掲げる

平成 17 年度の目標です。

★宮原美佐子さんを迎えて★

開所記念日に事務所内にて、オリンピックにも出場された
宮原美佐子さんによる所員研修会が催されました。

Misako Miyahara プロフィール

宮原美佐子氏 日本人女性として初めて 2 時間 30 分の壁を破ったランナー

川口市出身の宮原さん。彼女が本格的に陸上競技を始めたのは、旭化成入社後の社内のジョギング大会で宗監督らの目にとまったのがきっかけ。初マラソンは 1982 年の東京国際女子マラソン (38 位)。1985 年の東京国際女子マラソンで 6 位入賞、1986 年の日本選手権 10,000m で優勝、そして同年のアジア大会女子マラソンで 2 位となり、日本女子陸上界で頭角を現す。その後、日本人女性として初の快挙を二つ樹立する。一つが、1988 年大阪国際女子マラソンで初の 2 時間 30 分の壁を破る国内最高記録の 2 時間 29 分 37 秒をマーク (2 位) したこと。そして、もう一つが 1989 年ミラノワールドカップ女子マラソンで、初の 2 位入賞を果たしたこと。もちろん、1988 年のソウルオリンピックには、女子マラソン競技に日本代表選手として出場した。

その後、宮原さんは川口市市議会行政委員や埼玉県教育委員など活躍の場を広げ、本年 5 月より市議会議員としても活躍している。

お話を聴いて

内海 佑太

宮原さんのお話は、大変インパクトのあるエピソードが多く、あっという間の1時間でした。特に印象的だったのは、体が弱かった幼少時にご両親が勇気を与えるために、椅子に宮原さんを縛りつけテレビでマラソンを観戦させたというエピソードでした。また、マラソンデビューしてからのお話では、壮絶なトレーニングや、1日に8000キロカロリーも摂取しなければならない過酷さに、所員からは驚きの声が上がりました。



宮原みさ子さんの講演を聴いて

金児 郁代

お話を聴き終えて、つくづく思いました。宮原みさ子さんは明るい笑顔が似合う、強烈な個性の持ち主なのだ。

病弱だった幼少期や、最初は好きではなかったマラソンを選んだ理由など、普通ならマイナスの部分の話を、カラッと笑顔で話してくれる。

決して偉そうに話すのではなく、失敗もいっぱいしたよ、ずるい事も考えたんだよと、身近に語りかけてくれて、とても嬉しかったです。

上手く言えませんが、自分だけが苦しい・大変だと短絡的に考えずに、もっと大きな心で様々な事を乗り越えていこうと思いました。



私には、四歳になったばかりの娘がおります。
子育てと仕事の両立のキーワードは、やはり『時間』。働きながら子育てをする苦労は、いつも時間に追われた生活を送らなければならないことです。
その苦労を癒してくれるのは子供と一緒に過ごす楽しい時間。子供は保育所、私は会社とお互い違う世界で一日を過ごし、家へ帰って来て、「今日はどうかあった？」と子供に話しかけていると、離れていた時間がある分、子供との触れ合いが密になる気がします。
時間に追われながらも集中して働くと、一日の仕事が終わったとき充実感があります。思えば、子供が生まれる前は、目的意識を持たず仕事をしていたのか……。子供のいる今の方が仕事にもやりがいを感じます。

子育てと仕事の両立……
谷口美帆

子育てと仕事の両立